

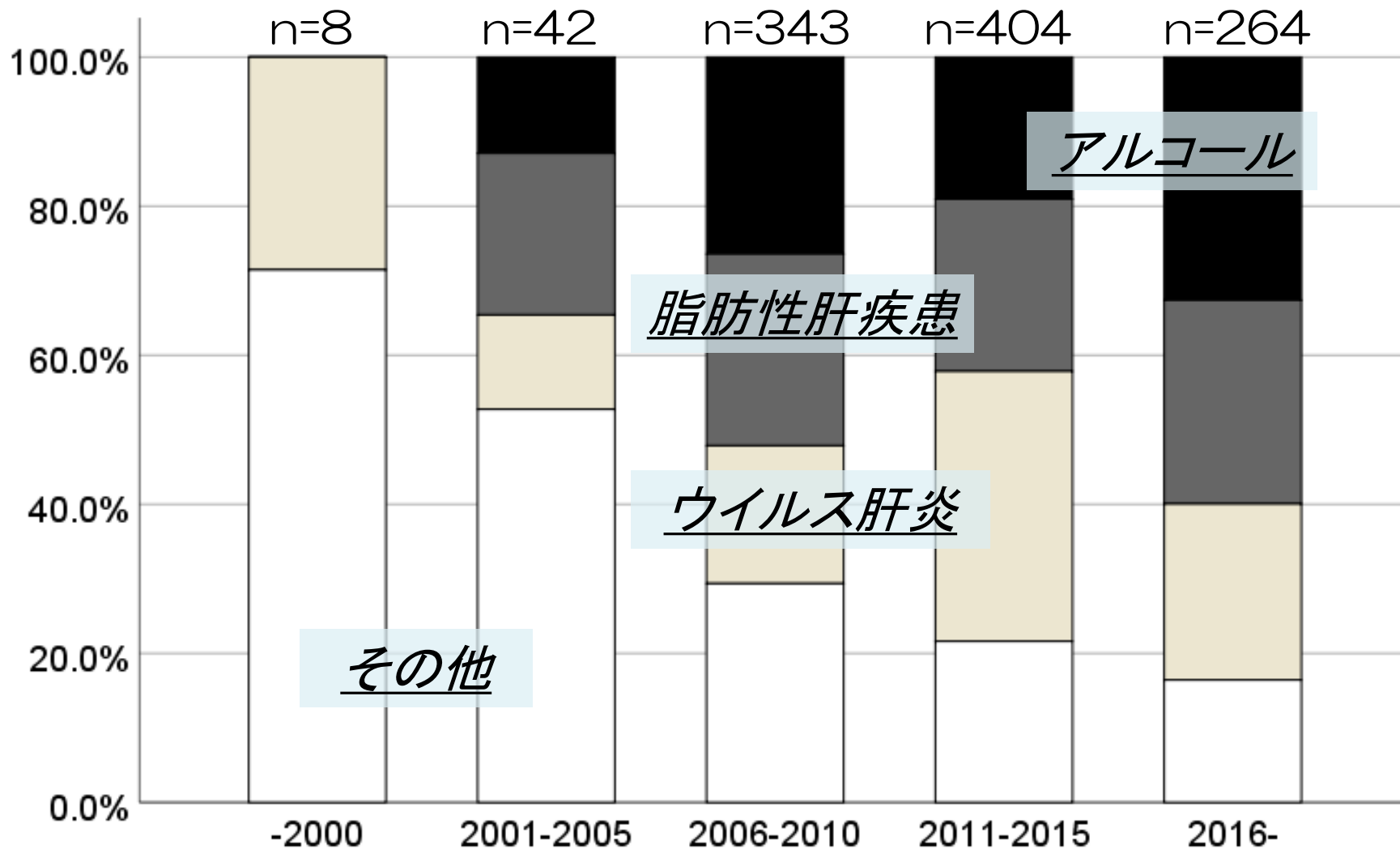
肝疾患診療連携拠点病院活動報告

九州ブロック
琉球大学医学部附属病院
前城達次 新垣伸吾

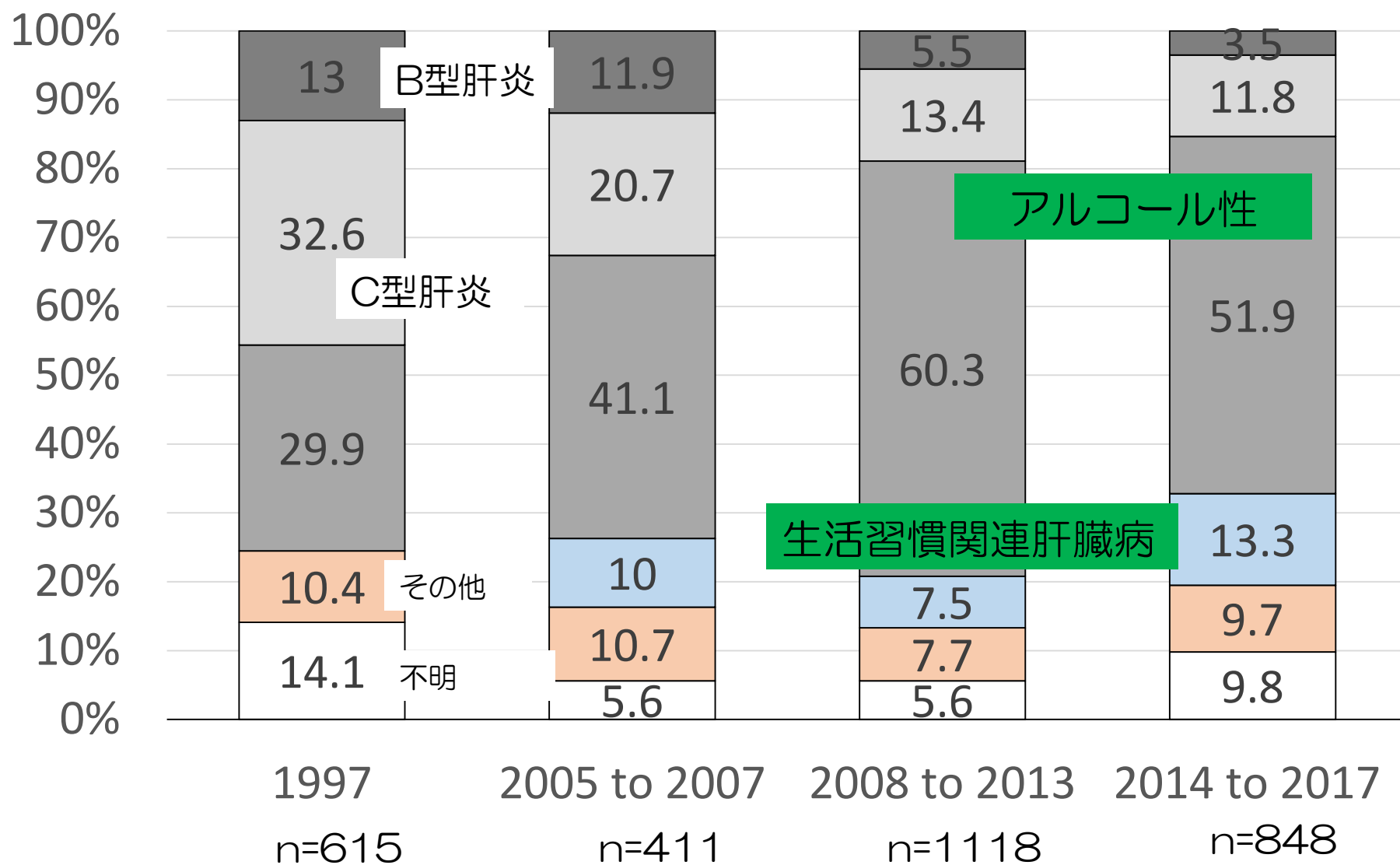
肝疾患診療連携拠点病院の活動

- ☑ 肝疾患に係る一般的な医療情報の提供
（患者さんや医療従事者からの相談・啓発活動）
- ☑ 都道府県内の医療機関等に関する情報の収集や紹介
（患者さんや医療従事者からの相談・啓発活動）
- ☑ 医療従事者や地域住民を対象とした研修会・講演会の
開催や肝疾患に関する相談支援
（市民公開講座・医療従事者向け講演会・勉強会）
- ☑ 疾患に関する専門医療機関と協議の場の設定
（連絡協議会 年に2回）

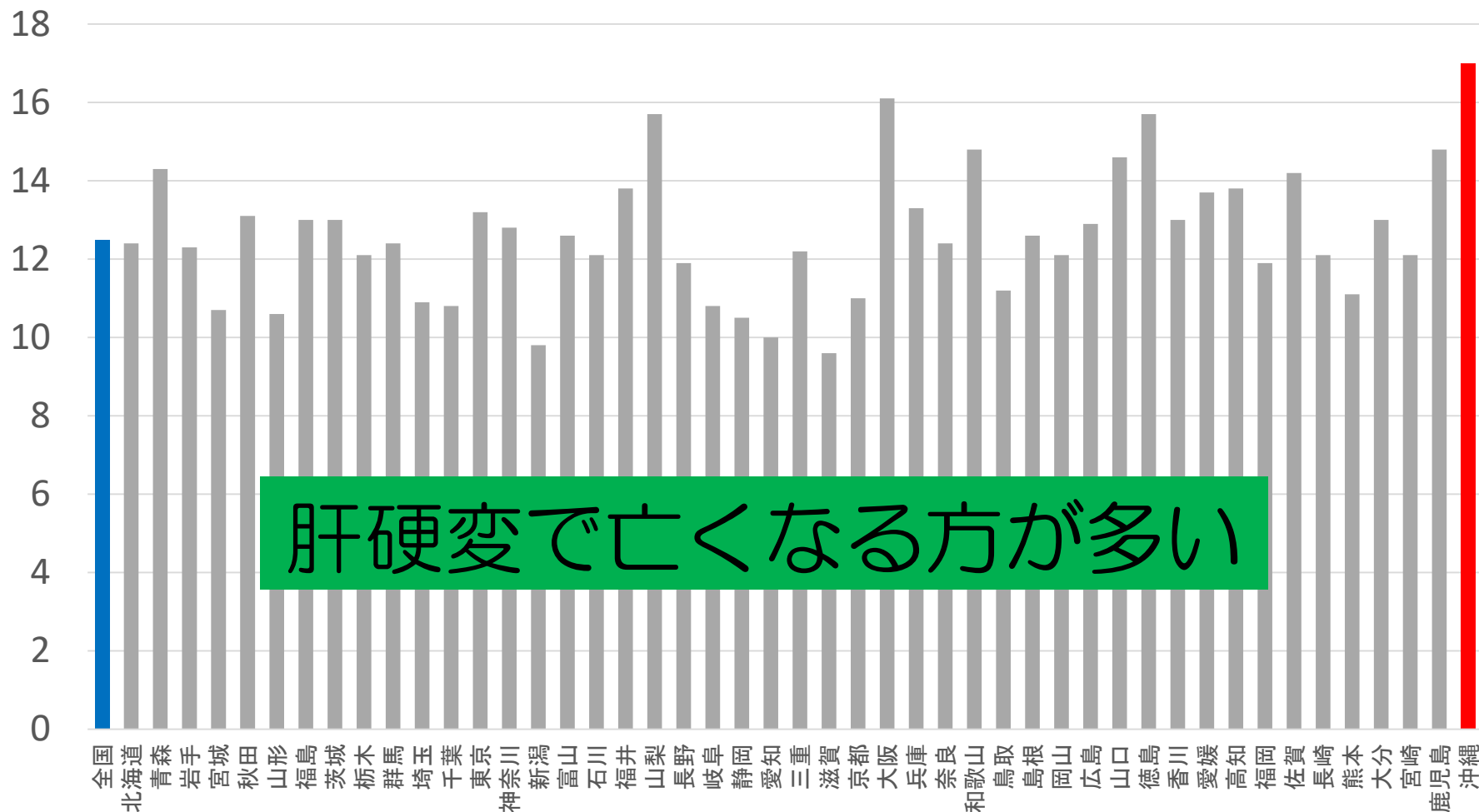
肝疾患の原因(初診時) 琉球大学外来



肝硬変の成因 琉球大学及び関連施設



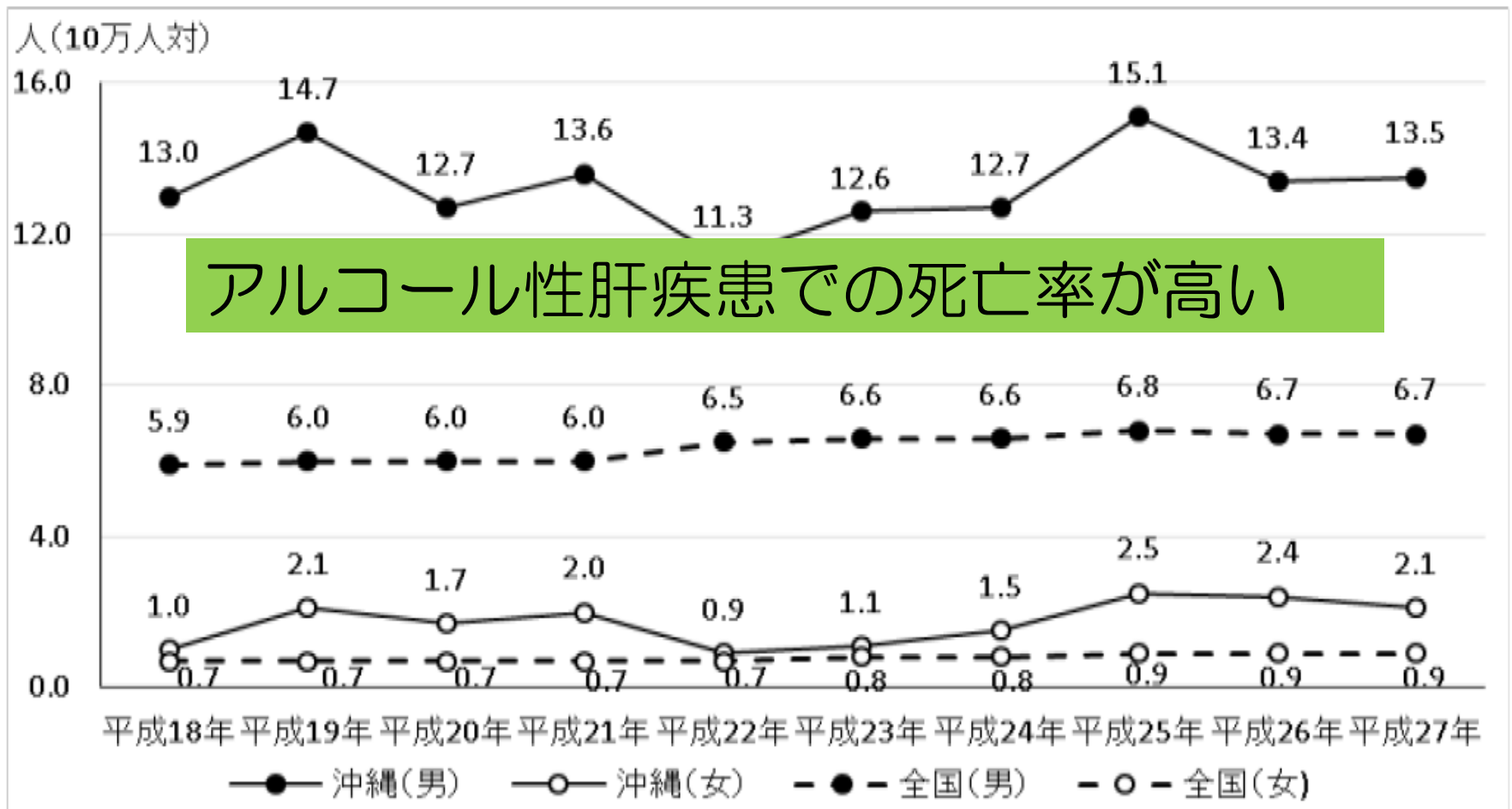
肝疾患死亡率 人口10万人あたりの死亡数 平成27年度



厚生労働省 人口動態別年齢調整死亡率

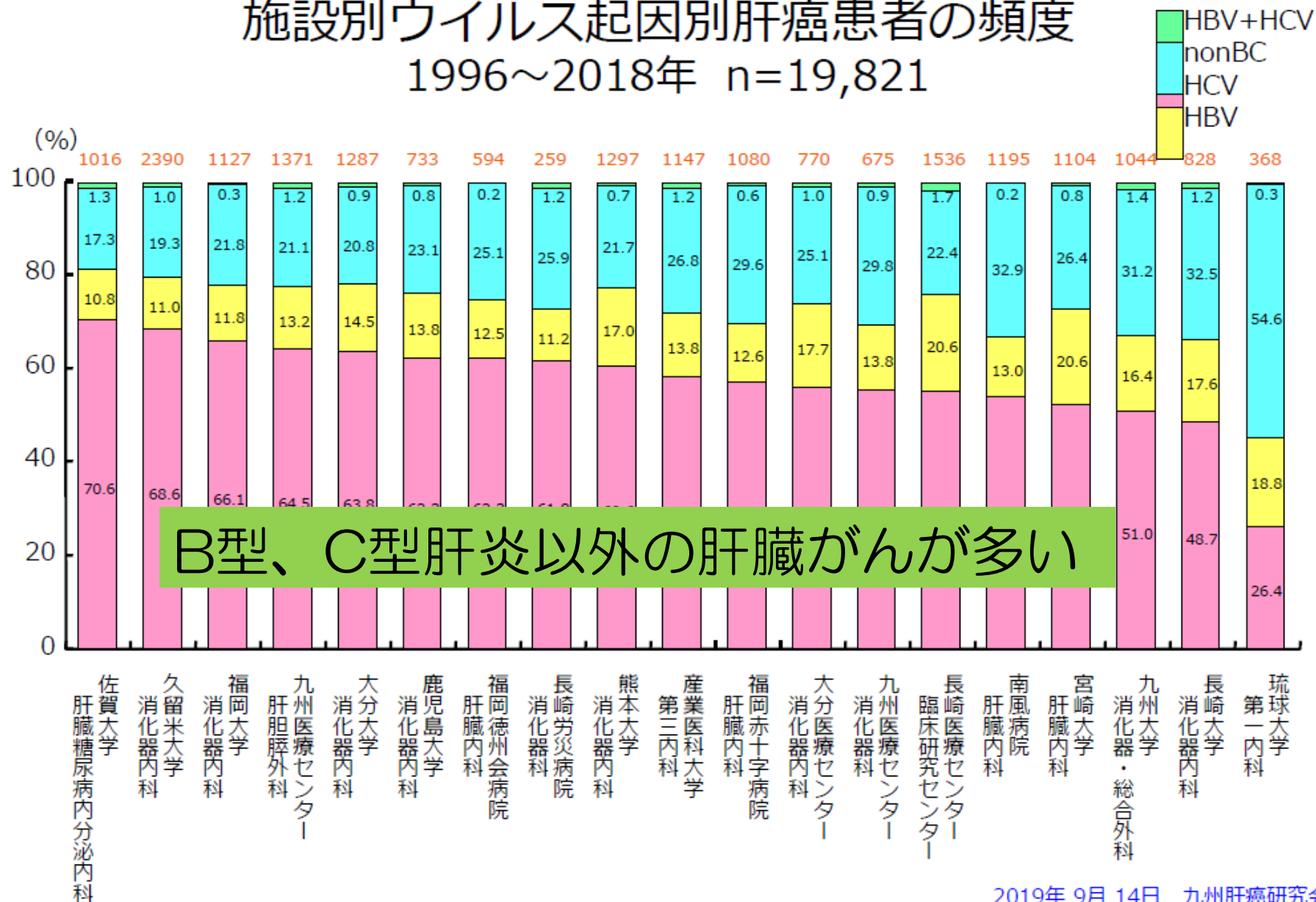
1st department Internal Medicine, University of the Ryukyus

アルコール性肝疾患による死亡率（人口10万人対）



厚生労働省「人口動態統計」

施設別ウイルス起因別肝臓患者の頻度 1996～2018年 n=19,821



2019年 9月 14日 九州肝臓研究会

沖縄県で肝硬変・肝がん患者さんを減らすために！

- ✓ 沖縄県はHBs抗原陽性率は高率であるが、
多くが非活動性で治療適応者は比較的少ない。
→定期的な経過観察は必要であることの啓発
→再活性化肝炎などの啓発（医療従事者・患者さん）
- ✓ HCV抗体陽性率は低率。
→DAA治療の恩恵を受けて頂く機会を逃さない！
→掘り起こしを中心に医療機関、患者さんへの啓発
- ✓ 肝炎ウイルス感染者は医療情報に関して情報収集の意識が高い
- ✓ アルコール性肝疾患、脂肪性肝疾患による肝硬変・肝がんの割合が比較的高率でありこれらに関する啓発活動が重要

飲酒を含む生活習慣関連肝疾患が多い沖縄県では
住民・社会への啓発が重要！

【啓発の方法】

①市民公開講座・勉強会

②パンフレットの配布

③HP・FaceBookでの啓発

④マスコミを利用して（ラジオ）

- ・地域FM局；肝臓学会市民公開講座に合わせて
- ・沖縄全域のラジオ；12月に毎週、肝炎啓発番組

⑤医療従事者向け講演会・勉強会

対象；各地域の保健所や自治体の保健師（肝炎Co）

アルコール性肝疾患勉強会参加者の声

- 20代30代に聞かせたかった話でした。
- 酒の飲み方、食事と運動、健康の大切さを改めて知りました。（逆に怖くもなりました）
- 飲酒による体調不良が生じたため、現在断酒中であるが、このセミナーを受講して、減量の必要性や適正飲酒の在り方を改めて考えさせられた。
- 個人の過去5年の健康診断結果やアルコール体質試験パッチテストが良かった。
- タバコの害はよく耳にするが、お酒に寛容な沖縄では酒の害についてあまり考える機会が少ないのでとても良かった。
- 健診結果が悪かった者だけでなく、全員が受講した方が良い。

【啓発の方法】

①市民公開講座・勉強会

②パンフレットの配布

③HP・FaceBookでの啓発

④マスコミを利用して（ラジオ）

- ・ 地域FM局；肝臓学会市民公開講座に合わせて
- ・ 沖縄全域のラジオ；12月に毎週、肝炎啓発番組

⑤医療従事者向け講演会・勉強会

対象；各地域の保健所や自治体の保健師（肝炎Co）

健康長寿県 2020年までに 働き盛り世代の死亡率を 10%減らすぞ!

特集 沈黙の臓器“肝臓”に忍び寄る魔の手

～飲み過ぎ&肥満、あなたは大丈夫!?～

お酒の飲み過ぎが肝臓病を引き起こし、悪化すれば死に至ることもあって います。肝臓は「沈黙の臓器」。あなたに肝臓病が潜んでいる、手遅れになる前に、飲み過ぎや食べ過ぎなどの生活習慣をすぐ見直しましょう。

監修 琉球大学医学部内科学第一内科・肝臓病診療部長 松島 紀雄 准教授(肝臓学専門医)

肥満やメタボも肝臓病(NASH)の原因

肝臓は、人間の体の中で最も大きな臓器で、約1.5kgあります。その中心には、血管と胆管が通っています。肝臓は、体の代謝や免疫に関与しており、健康な肝臓は、体の健康を維持するために重要な役割を果たしています。

肝臓病は、肝臓の機能が正常に働かなくなることです。肝臓病の原因は、お酒の飲み過ぎ、食べ過ぎ、肥満、メタボ、ウイルス感染などがあります。肝臓病は、初期には症状がほとんどありません。そのため、肝臓病は「沈黙の臓器」と呼ばれます。

肝臓病の診断は、血液検査、超音波検査、CT検査、MRI検査などによって行われます。肝臓病の治療は、原因を取り除くことが重要です。お酒の飲み過ぎや食べ過ぎを減らし、健康的な生活を送ることが、肝臓病の予防と治療に役立ちます。

肝臓の危険なサイン

- ① 食欲不振、体重減少
- ② 疲労感、倦怠感
- ③ 黄疸(皮膚や目が黄色くなる)
- ④ 肝臓の腫れ、痛み
- ⑤ 肝臓の硬さ、圧迫感
- ⑥ 肝臓の機能低下による症状(例えば、出血傾向、意識障害など)

肝臓病は、早期発見・早期治療が重要です。肝臓の健康を維持するために、健康的な生活を送りましょう。

健康あいど

3択クイズ 沖縄の飲酒って

何が問題なの?

① 飲む量が多い
② 適量を知らない
③ 後悔するくらい飲む

答えはどれ? 正解は次回を見てね!

特集 沈黙の臓器“肝臓”に忍び寄る魔の手～飲み過ぎ&肥満、あなたは大丈夫!?～

監修 琉球大学医学部内科学第一内科・肝臓病診療部長 松島 紀雄 准教授(肝臓学専門医)

★ 沖縄県保健医療福祉事業団 <http://www.kankou-island.or.jp>

沖縄県保健医療福祉事業団と
共同で作成・配布

「肝臓病予防のための6つの誓い」

できることから今すぐ始めて、大切な肝臓を守ろう!!

1. 肝臓病予防の誓い
2. 肝臓病予防の誓い
3. 肝臓病予防の誓い
4. 肝臓病予防の誓い
5. 肝臓病予防の誓い
6. 肝臓病予防の誓い

手遅れになって後悔する前に、自分の飲み方や食べ方を立ち止まって見直しましょう!

肝臓はとても大事な臓器で、私たちの健康を左右しています。肝臓の健康を維持するために、健康的な生活を送りましょう。

肝臓病予防のための6つの誓い

① 肝臓病予防の誓い

② 肝臓病予防の誓い

③ 肝臓病予防の誓い

④ 肝臓病予防の誓い

⑤ 肝臓病予防の誓い

⑥ 肝臓病予防の誓い

肝臓病は、早期発見・早期治療が重要です。肝臓の健康を維持するために、健康的な生活を送りましょう。



肝臓病教室、市民公開講座、講演会などの他に沖縄の肝臓病の特徴などの医療情報を掲示

← ホームページ

FaceBook



いきいき健康アイランドラジオ

こきざみインディアンのがんじゅ〜未来

2016年12月放送分 (1)

2016年12月放送分 (2)

2016年12月放送分 (3)

2016年12月放送分 (4)

2016年12月放送分 (5)

2016年12月放送分 (6)

2016年12月放送分 (7)

2016年12月放送分 (8)



テレビCM

ラジオCM

オリジナルムービー

ラジオ番組

こきざみインディアンのがんじゅ〜未来

2016年10月放送分

2016年11月放送分

2016年12月放送分

2017年1月放送分

2017年2月放送分

2016年9月放送分

獲得久栄昇の健康チンダミ

<全県放送>

- FM沖縄
- ラジオ沖縄(AM)
- 琉球放送(AM)
- 毎年12月の週に2回
夕方と夜

<地域限定>

- FMレキオ
- 市民公開講座の前に

<http://www.kenkou-island.or.jp/media/1540858142/1540858588/1541055616/>

【啓発の方法】

- ①市民公開講座・勉強会
- ②パンフレットなどの配布
- ③FaceBookでの啓発
- ④マスコミを利用して（ラジオ）
 - ・地域FM局；肝臓学会市民公開講座に合わせて
 - ・沖縄全域のラジオ；12月に週に1回肝炎啓発

→効果を把握することが困難。

- ⑤医療従事者向け講演会・勉強会
対象；各地域の保健所や自治体の保健師（肝炎Co）

各地域の保健師さん
（肝炎Co）
と連携・支援

できることから始める。

<各地域の保健師（肝炎Co）との連携・支援>

肝炎Coからの声！

- ・ 沖縄本島での講習会、勉強会では参加できない場合が多い
- ・ 大勢の前では質問しづらいこと
- ・ 講習会の内容以外の情報も欲しい
（肝炎ウイルス以外のアルコールや脂肪肝が多い）
- ・ 沖縄は肝臓専門医が少なく、気軽に質問できない

<対応> 保健師（肝炎Co.）の活動を支援する！

- ・ 拠点病院の肝臓専門医が相手のホームグラウンドに出向くことでできるだけ多くの方と情報共有する
- ・ 各地域で少人数での勉強会＋質問を受ける
- ・ 肝炎ウイルスからアルコール、脂肪肝まで全て情報共有

→顔が見える関係を構築していつでも気軽に質問できるようにしたい！

【勉強会開催場所】

<肝炎Co.中心の連携>

- 名護市役所
- 北部保健所
- 伊江島町役場

伊江村役場



中城村役場
沖縄市役所
北部保健所
協会けんぽ
那覇市役所
浦添市役所

宮古島保健所
宮古島市



八重山保健所
石垣市

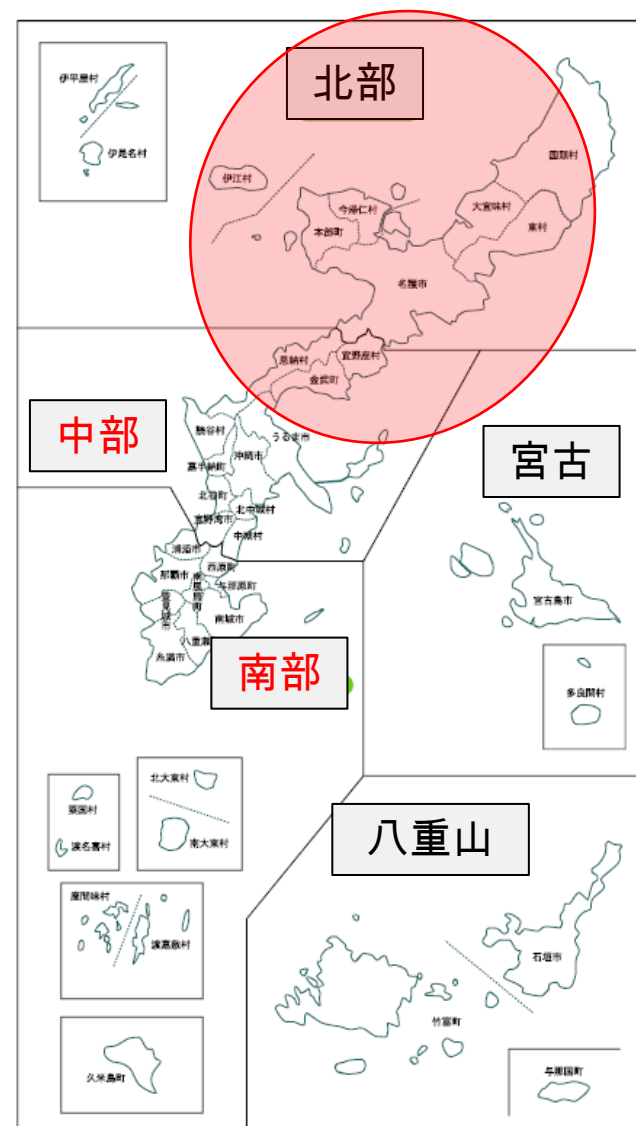


与那国町役場



肝臓学会専門医 (33名)

- ☒ 沖縄本島中南部地域
 クリニック 5名
 専門医療機関 19名
 拠点病院 6名
- ☒ 宮古地域
 療養型施設 1名
- ☒ 八重山地域
 沖縄県立八重山病院
 オーテーター 2名



北部地区医師会病院（肝疾患専門医療機関）

肝炎コーディネーター

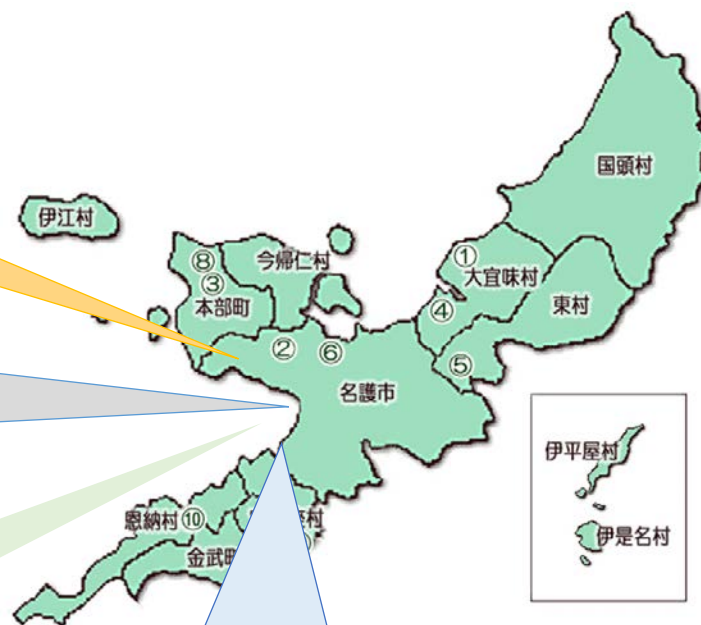
漢那香織さん

①地域医療指定病院

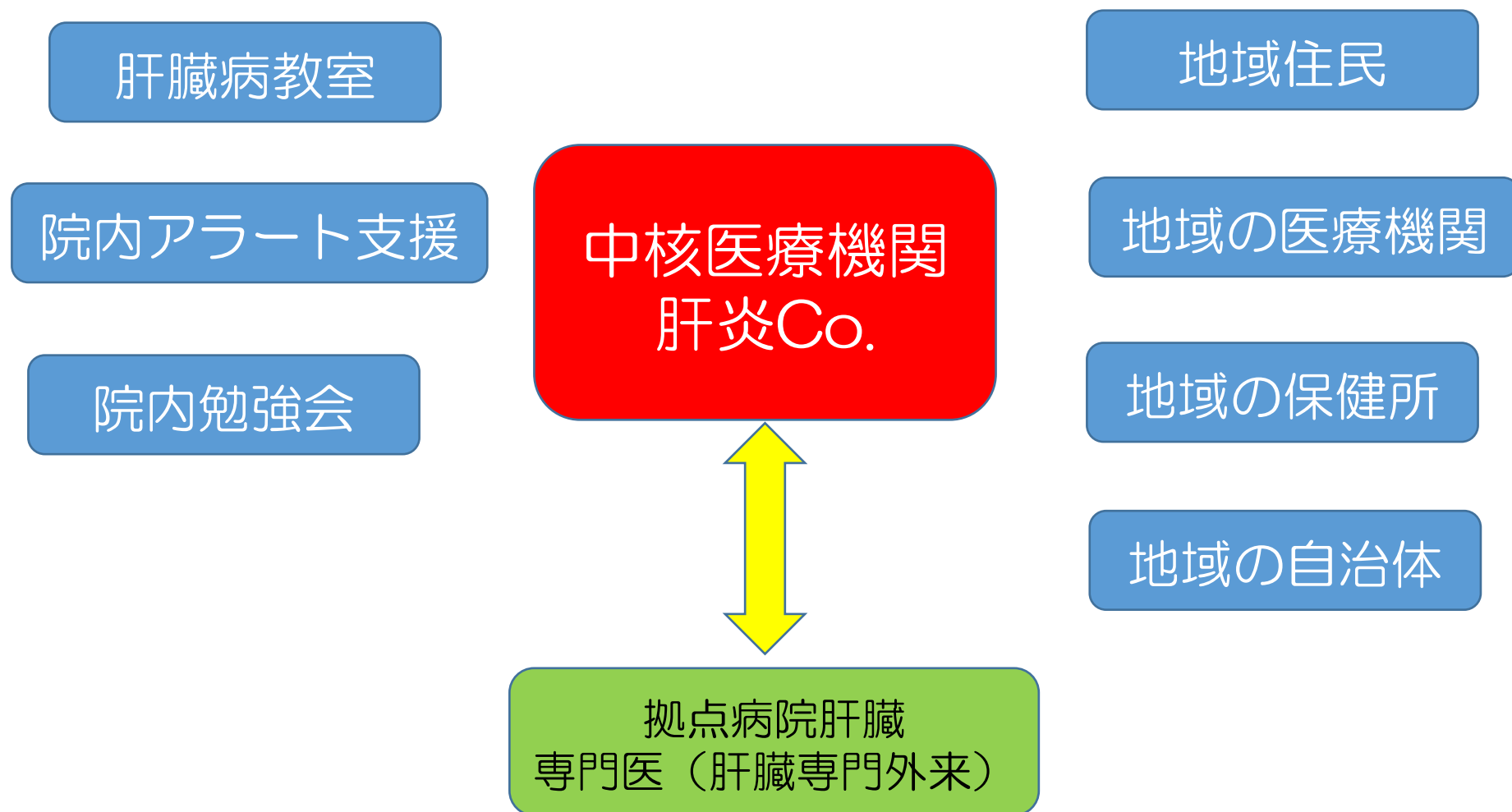
②肝疾患専門医療機関
に指定されているが肝臓
専門医が常勤していない

③北部地域で肝臓外
来があるのは、当院
のみ

④12市町村の急性期
医療を担っている



拠点病院専門医による肝炎Coへの支援



北部地区医師会病院の役割



各自治体での啓発活動に 肝炎Co.が関与する。

名護市 健康だより7月号掲載

しぼうかん 脂肪肝 って、なあに?

A. 肝臓に脂肪が溜まった状態です。

脂肪肝によって…

- 肝炎
- 肝硬変
- 動脈硬化
- 動脈硬化が進むと脳梗塞や心筋梗塞の原因に

生活習慣病（脂質異常症、高血圧、糖尿病）を合併すると肝臓がんの発症率が高くなります。

肝臓は洗剤の濾過、症状が出るまえに対策を!

名護市では肥満のある方の7割が肝機能異常を指摘されています。生活習慣の見直しと毎年健診を受けることが大切です。健診結果で精密検査が必要となった方は必ず病院へ受診し医師と相談してください。

健診に関することは健康増進課へ問い合わせください。また、健康相談も無料でっております。ぜひご利用ください。

名護市役所 健康増進課
電話 53-1212（内線 263・143）

掲載機関：北部地区医師会病院 肝胃コディネーター→医師会場

肝炎Co.の資料作成を支援

地域住民への正しい知識の情報提供

市町村役場の広報誌活用

国頭村 保健だより7月号掲載

知らないと怖い 脂肪肝

皆さんは「脂肪肝」という病気を知っていますか？脂肪肝とは、肝臓に脂肪が溜まった状態のことです。お酒の飲み過ぎ、食べ過ぎ、運動不足が原因で起こります。脂肪肝をそのままにしておくと、がんになる可能性が高まります。

国頭村では、県全体の平均と比べると、約14倍の方が脂肪肝で診断されています。脂肪肝にならないためには、①食事や運動などの対策を摂りすぎないようにすること、②運動をすること、③お酒を控えることが大切です。

＜お酒について＞
「適量（飲量）」とは、お酒に2日はお酒を飲まない日を作ること、1日1回あたりの飲酒量は、ビール（500ml）なら500ml、焼酎・焼酎（15度）なら1合以下の範囲内で飲むことを言います。

国頭村では、特定飲酒を飲いた方の約2%が脂肪肝を患っており、約2%が2合以上飲酒している状況があります。酒量を抑えることは、脂肪肝の予防だけでなく、心臓病や糖尿病などの病気の予防にもつながります。毎日の健康や家族の生活を守るために、もう一度自分の飲酒状況を振り返ってみましょう。

肝臓に脂肪が溜まった状態。

原因

- ①アルコールの飲み過ぎ
- ②食べ過ぎ
- ③運動不足

対策

- ①食事療法（糖質を減らす）
- ②運動療法（体重を減らす）
- ③節酒（アルコールを控える）

脂肪肝は生活習慣病の一種です。生活習慣病（脂質異常症、高血圧、糖尿病）を合併すると肝臓がんの発症率が高くなります。

国頭村保健センター 0980-41-5767 国頭村役場福祉課 0980-41-2765

今帰仁村 広報誌
6月号掲載

掲示板

(2019年) 令和元年6月1日 広報なきじん 10

**北部地区医師会病院
肝炎コディネーター
からのお知らせ**

脂肪肝は生活習慣病のひとつです。脂質や糖質の摂り過ぎ、運動不足、アルコールの摂り過ぎにより、肝臓に脂肪が蓄積した状態をいいます。また、脂質異常症や糖尿病、高血圧などの生活習慣病を持っている方は、心筋梗塞、脳梗塞などの血管の病気になるやすく、がんの発症率が高くなり、死亡率も上がります。これを期に生活習慣の改善をはじめましょう。

【問い合わせ先】
北部医師会病院 内科外来
肝炎コディネーター 漢那
0980-154-1111

地域住民への正しい知識の情報提供

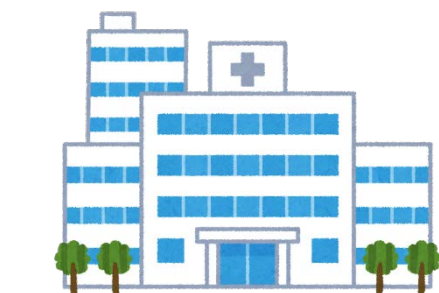
肝臓病教室（地域住民向け）



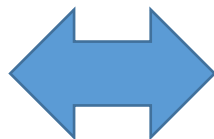
第1回肝臓病教室「脂肪肝」について開催
参加者 30名

肝臓専門医がない地域・施設での開催
（拠点病院肝臓専門医も講師として参加）

保健所との連携



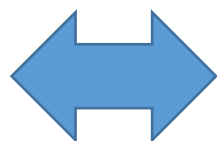
北部地区医師会病院



・ 疾病予防
・ 健康づくり
・ 指導・相談
を担っている保健所
との情報交換

- ・ 役場や健康管理センターなどの保健指導に関する情報交換
- ・ 当院での肝疾患受診率の情報提供
- ・ 肝炎の予防や受検に対する取り組みについての情報交換
- ・ アルコール部会への参加 など...

「受検」における保健指導の向上



地域住民の保健指導や
健康管理を担っている
役所・役場の保健師
と情報交換

- ・地域住民の肝炎に関する知識や情報交換
- ・受検の際の保健指導の情報交換
- ・肝炎の予防や受検に対する取り組みについての情報交換
- ・当院での肝疾患受診率の情報提供
- ・受療へ繋げるための情報交換、連携
- ・広報誌掲載依頼や肝臓病教室の案内 など...

パンフレットを郵送し
保健指導に活用して頂く

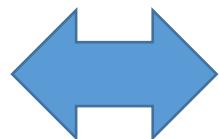


肝炎Co.の資料作成を支援

「受診」「受療」「フォローアップ」の連携



北部地区医師会病院



地域の診療所



- ・かかりつけ医の先生方へ、当院の肝疾患受療率について報告
- ・診療所における肝疾患患者の割合を情報交換
- ・肝臓外来について情報提供
- ・パンフレットの配布をして療養指導に活用して頂く
- ・肝炎コーディネーターの認識を広める

など...



肝炎Co.と地域の医師との連携の橋渡し

離島との連携

参加者 17人 アンケート回収：15人（回収率 88. 2%）

1. 年齢・性別について

	20代	30代	40代	50代	合計
男性			1	1	2
女性	1	2	7	3	13
合計	1	2	8	4	15

2. 職種について

保健師	看護師	他医療職	その他	合計
5	7	2	1	15

3. 今回の肝臓病教室は何で知りましたか？（複数回答可）

案内チラシ	医療保健課からの声かけ	その他	合計
2	13	3	18

4. 肝臓病教室の内容はいかがでしたか？

大変参考になった	参考になった	合計
12	3	15



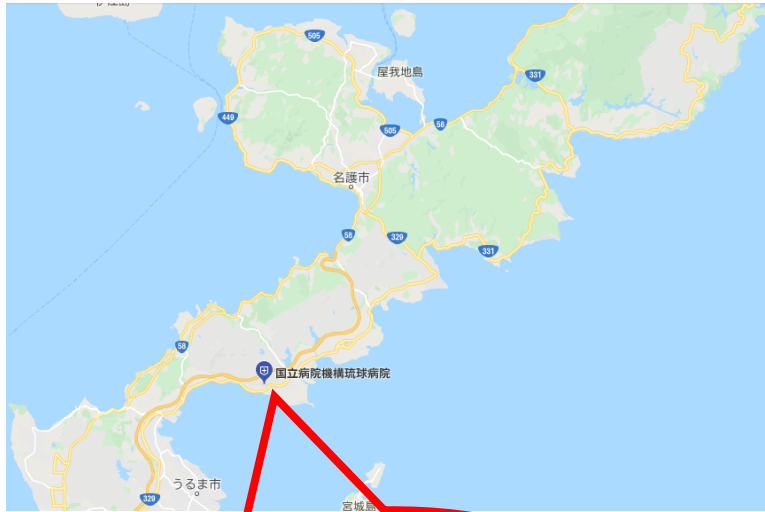
肝炎医療Co.からウイルス感染者の対応などについて。



2019/11/22

肝炎Co.と拠点専門医が伊江島での勉強会を実施

アルコール専門医との連携



沖縄県アルコール拠点病院

- ・問題飲酒に関する指導方法を学ぶ
- ・プログラムされているアルコール依存症の治療の実際について知る
- ・当院との連携 など...

指導用の資料提供



酒席ではコップを
空にしない
(注がれないため)



上手な断り方
を身に着ける



お酒を飲みすぎ
てしまう相手や
場所を避ける



お酒を飲むと
病気が悪くなること
を思い浮かべる



お酒を減らすと
健康になること
を思い浮かべる



お酒以外の
楽しみや趣味
を増やす



周りの人に
目標を宣言して
協力してもらう



家族や友人と
楽しく過ごす

院内での活動（肝炎に関する情報の普及活動）

資料作成の支援



内科外来前



院内での活動（患者指導）

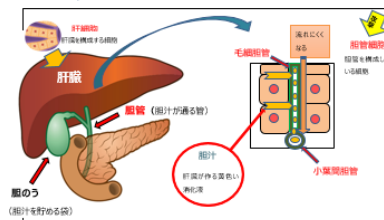
原発性胆汁性胆管炎

（旧称：原発性胆汁性肝硬変）

北部地区医師会病院 内科外来

2019年8月作成

原発性胆汁性胆管炎（PBC）とは



肝臓の細胞で作られた胆汁は、胆管を通過して十二指腸へ流れていきます。原発性胆汁性胆管炎は、まだ原因は分かっていませんが、肉眼では見えないくらい細い胆管の細胞が破壊され、胆汁の流れが悪くなることにより起こります。流れにくくなった胆汁は、肝臓内で溜まり肝細胞が炎症を起こし破壊され、その結果、線維が蓄積して肝臓が硬くなり、徐々に肝硬変へ進行します。その結果、肝臓の働きが低下し、黄疸（皮膚や眼白が黄色くなる）や腹水貯留（お腹の中に水が溜まる）、意識障害などが起こります。以前は、肝硬変まで進行した段階で発見されていたため、「原発性胆汁性肝硬変」と言われていましたが、現在は診断・治療技術の進歩により、多くの方が肝硬変に至る前に発見されることから、2016年に「原発性胆汁性胆管炎」へ病名が変更されました。

慢性ウイルス性肝炎について

北部地区医師会病院



■感染経路について

B型及びC型肝炎は、主に血液や体液を介して感染します。空気感染や経口感染はありません。

■日常生活で気をつけること

肝臓に負担をかけないよう、規則正しい生活を心がけて、ストレスや過労を避けるようにしましょう。また、栄養バランスを考えた食事を規則正しくとるようにしましょう。

■感染を防ぐために

以下の点に注意しましょう。

- ◆献血は絶対にしないでください。
- ◆血液がついたものは、むき出しにならないよう包んで捨てるか、よく洗い流しましょう。
- ◆歯ブラシ、ひげ剃り等の血液が付着する日用品は個人専用にし、他人に貸したり、または借りたりしないようにしましょう。
- ◆他の病気で病院に行ったとき、また歯科治療の際は、医療従事者への感染を予防するためにも、医師にB型もしくはC型肝炎であることを告げましょう。
- ◆外傷、皮膚炎、鼻血、月経などで出血したときは、できるだけ自分で手当をし、血液のついたものはむき出しにならないよう包んで捨てるようにしましょう。また、他人に手当をしてもらう場合は、手当をする人に血液や分泌物がつかないよう注意しましょう。
- ◆トイレの後には、流水でよく手を洗うようにしましょう。
- ◆乳幼児に口移しで食べ物を与えないようにしましょう。
- ◆性的接触には、コンドームを使用しましょう。

■正しい知識を持って豊かな生活を

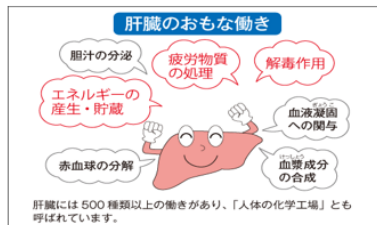
肝炎ウイルスの感染経路や予防法についての正しい知識を持てば、むやみに隠したり恐れる必要はありません。日常的な人付き合いで、肝炎ウイルスキャリアであることを告知すべきかどうかケースバイケースで考えるといでしょう。職場など、感染する機会がほとんどない場所では、あえて周囲に告げる必要もないでしょう。親しい友人であれば、肝臓病のことを知らせ、相手に正しい知識を持ってもらってもよいでしょう。

二次検診の方や通院中の方へ
既存のパンフレットや作成した
パンフレットを用いた患者指導

資料作成の支援

院内での活動（スタッフ育成）

急性肝炎で入院が必要な患者さまへ



H31 年 1 月作成 北都地区医師会病院 肝炎コーディネーター

急性肝炎（急性肝障害）とは？

体もしくは肝臓に障害を与える原因があり、数日から数ヶ月以内に肝臓の働きが悪くなることです。
その場合には患者さま自身に今まで経験したことのない下記のような症状が出る場合があります。逆にほとんど症状が出ずに、検診などで偶然受けた血液検査で判明することもあります。

以下のような症状があらわれることがあります。

- 発熱、寒の痛み、頭痛などの風邪のような症状
- 食欲不振
- 全身がだるい
- 吐き気
- 腹痛
- 黄疸
- 尿色や白目が黄色くなる
- 尿が黒くなる



肝臓に障害を与える原因とは？

●ウイルス性肝炎（肝炎ウイルス）

A 型肝炎ウイルス；食べ物などからの経口感染（牡蠣や汚染された水）

B 型肝炎ウイルス；血液や体液からの感染、針刺し事故、刺青、違法な薬物注射など

C 型肝炎ウイルス；輸血や血液製剤、針刺し事故、刺青、違法な薬物注射など

E 型肝炎ウイルス；食べ物などからの経口感染（畜肉や鶏肉）



病棟看護師勉強会

パンフレットを配布し入院患者
へ指導を行ってもらう

透析スタッフ勉強会

勉強会開催の支援

院内アラートシステムの導入

医局会でアラートシステムについて説明



検査部



肝炎co.



医師

施設長へアラートの重要性の説明を支援

拠点病院専門医による肝炎Coへの支援

肝臓病教室

拠点専門医が講義

院内アラート支援

肝臓専門医として他科医師への説明、Co.支援

院内勉強会

拠点専門医が講義

中核医療機関 肝炎Co.



拠点病院肝臓
専門医（肝臓専門外来）

地域住民

肝臓病教室での講義
啓発資材利用

地域の医療機関

情報共有 患者さん連携

地域の保健所

地域の自治体

情報共有
各種制度利用の連携
受検、受診、受療の
システム構築

拠点病院での活動を専門医のいない地域で広げる試み！

やる気のある保健師・肝炎Co.を応援すること！

御清聴ありがとうございました。